



伊万里ハーフマラソン2026



↑市民センター前を一齐にスタートした約2,700人のランナーたち

この日は、天候にも恵まれ、ランナーたちは、スタート地点の市民センター前から一齐にスタートしました。沿道からは、温かい声援が送られ、ランナーたちは、それぞれの目標に向かって、伊万里の景色を楽しみながらゴールを目指しました。

また、市民センターのお祭り広場では、ランナーたちの冷えた身体を温めるぜんざいなどの振る舞いがあつたほか、



↑伊万里駅前の最後の直線コースで、力を振り絞り全力で走り抜けていくランナー



↑高校生や地元企業など、多くのボランティアが大会を支えました

伊万里の特産品を販売するブースなどが並びました。走り終えたランナーたちは、達成感に満ちた表情で伊万里の食や交流を楽しみ、大会は、終始にぎわいを見せました。



↑大会新記録で優勝した上田結也選手



↑伊万里牛鍋が冷えた身体を温めました



↑完走記念のタオルを掲げ記念撮影するランナー

市内出場ランナー 各部門上位3人の成績

氏名	所属	記録	氏名	所属	記録
ハーフ・一般男子（18～39歳）の部			ハーフ・一般女子（18～39歳）の部		
上田 結也	SUMCO	1:05:09	笠原 奈月	—	1:21:45
畑元 悠治	南波多体協	1:11:38	城島 こころ	—	1:45:33
四辻 巧	山代	1:11:54	川原 さくら	—	1:54:53
ハーフ・一般男子（40～49歳）の部			ハーフ・一般女子（40～49歳）の部		
古賀 慶彦	at 国見台	1:15:11	谷口 有香	—	1:35:27
齋藤 裕樹	前田病院	1:15:28	原田 里絵	—	1:54:40
松尾 潤	伊万里市役所	1:16:06	杉山 久美子	—	1:56:45
ハーフ・一般男子（50～59歳）の部			ハーフ・一般女子（50～59歳）の部		
関 賢一郎	伊万里市役所	1:22:45	中島 由香理	伊万里	1:53:50
酒井 浩行	SUMCO	1:22:53	新井 裕子	—	2:08:51
松本 慎市	ハマショー歌う会	1:26:42	中島 智子	伊万里クラブ	2:11:45
ハーフ・一般男子（60歳以上）の部			ハーフ・一般女子（60歳以上）の部		
大久保 年雄	川原建設	1:48:01	小宮 良子	—	2:21:49
武田 耕二	—	1:51:24	原田 福美	SUMCO	2:24:54
井樋 直孝	いび整形外科	1:51:27			

ハーフ（21.0975 km）は日本陸連公認コースです。



2月の市民スポーツ

● 1日(日)

市長杯バスケットボール大会
午前8時30分開会
国見台体育館

● 8日(日)

伊万里市スポーツ少年団剣道交流大会
午前9時開会 国見台武道館

● 13日(金)～15日(日)

郡市対抗県内一周駅伝大会
県内一円(伊万里市通過:14日)
《市内中継所の通過予定時刻》
▷市民センター前
2日目前半ゴール 午前11時30分
再スタート 午後1時
▷南波多郷学館入口
午後1時30分

● 20日(金)

市長杯団体戦グラウンド・ゴルフ大会
午前9時10分開会
国見台陸上競技場、国見台球技場

● 22日(日)

伊万里オープンバドミントン大会
午前9時開会 国見台体育館



↑九州大会の出場を決めた大坪少年サッカークラブのメンバー

12月7日、ブラックモンブランフットボールセンターで『JA杯第40回佐賀新聞学童オリンピック大会・サッカー競技』の準決勝と決勝が行われ、大坪少年サッカークラブは、決勝でサガン鳥栖U12と対戦し、1対1のまま延長戦でも決着がつかず、PK戦の末、準優勝の成績を収めました。

大坪少年サッカークラブ準優勝

ロードレース 女子1～3年の部(1.5km)

順位	氏名	所属	記録
2位	内田 陽乃	伊万里三香クラブ	6:32
3位	小松 来依	伊万里クラブ	6:35

ロードレース 女子4～6年の部(2km)

順位	氏名	所属	記録
1位	廣田 愛澄	伊万里クラブ	7:37

駅伝 女子の部(5.9km)

順位	チーム名	記録
2位	伊万里三香クラブA	23:46

ロードレース 男子1～3年の部(1.5km)

順位	氏名	所属	記録
2位	坂本 誠	青嶺陸上クラブ	5:56

駅伝 男子の部(8.4km)

順位	チーム名	記録
2位	伊万里三香クラブA	30:11

名村カップ伊万里ジュニア駅伝

12月7日、国見台陸上競技場で『第31回名村カップ2025伊万里ジュニア駅伝大会』が行われました。市内選手の成績は、次のとおりです。



↑「初めての国際大会だが、得意の大回りで1位を目指す」と意気込みを語った古賀さん(中央)

国際ジュニアスキー技術選手権大会出場

12月16日、敬徳高校3年生の古賀禪一さんが、2月6日から韓国で開催される『国際ジュニアスキー技術選手権大会』に出場することを報告するため、深浦弘信市長を表敬訪問しました。

古賀さんは、昨年、長野県で開催された『第9回全日本ジュニアスキー技術選手権大会』の高校生男子『大回りの部』で5位に入賞したことから、同大会への出場が決定しました。

松島町出身の古賀さんは、5歳から競技を始め、現在は、毎週末に広島などに遠征し、練習に励んでいます。



↑福岡ソフトバンクホークスジュニアのユニフォームを着てポーズを決める前田さん(左)

NPBジュニアトーナメント出場

12月19日、大坪赤門南波多野球部の前田武蔵さんが、12月26日から29日まで明治神宮野球場と横浜スタジアムで開催された『NPBジュニアトーナメントKONAMI CUP 2025』に『福岡ソフトバンクホークスジュニア』の一員として出場することを報告するため、深浦弘信市長を表敬訪問しました。

前田さんは、九州・沖縄、中国、四国地方の小学5・6年生3589人が参加した、選考会で16人のメンバーに選ばれました。なお、同大会で、福岡ソフトバンクホークスジュニアは、準優勝の成績を収めました。